

特集

建築で飯を食う2012年、 建築家の職能を 考える



1＝ヨコハマホテルヴィレッジのフロントでのパーティ(提供:岡部友彦) 2＝403 Architecture(dajiba)「海老名の改造」(写真:kentohasagawa) 3＝「柳橋歌舞伎」(提供:宗像和則) 4＝岡村泰之「北島山プロジェクト」外観(写真:岩谷みち子)



個人個人が、いまの現実社会にマッチするように思考行動し、身の回りから変革していくことが求められている。そうしたことを議論し、まとめていく市民組織をオーガナイズしていくのが、建築家の役割ではないか(岡村泰之「岡村泰之建築設計事務所」)。風土に培われた蓄積を、便利さや経済優先でだけ判断し消し去っていく建築・街づくりに、私はもう加担しません(宗像和則「宗像和則建築設計事務所」)。

●岡村泰之 | なぜ、私は建売住宅を設計するのか? ●泉本晋一+駒井秀紀 | 街こわしから生まれた「スキマ」を街づくりにつなげる ●岡部友彦 | ドヤ街・横浜寿町に生活環境をデザインする ●彌田徹+辻琢磨+橋本健史 | 新築・改築・解体を通して都市の枠組みから設計する ●宗像和則 | 「柳橋歌舞伎」の伝承をきっかけにコミュニティ・アーキテクトを実践



「新連載」
まちの胃袋
—宮崎県延岡市
山崎亮

「新連載」
透けた明るさ
名作住宅の構造デザイン
—小野暁彦

東日本大震災—行動する建築家の
商店主の生活再建
を支える南三陸町
仮設商店街計画
—山下香

「新連載」
建築保存の
ポリエーデル
ヨーロッパに学ぶ
リノベーションの技法
—笠原一人

